

令和3年度柏市立風早南部小3年生 総合的な学習により

おいでよ！カシワガ



# すごいぞ！柏プロジェクト！

2021年9月16日 第1号

## 南部小産のかぶを！プロジェクト始動！

3年生の総合的な学習の時間は「すごいぞ！柏プロジェクト」として、わたしたちが暮らす柏市のじまんを探しています。

きっかけは、3年生の1学期の社会科「市の様子」の学習です。3年生の子どもたちの多くは、柏市に住んでいながら、実は自分の家や学校のまわりの事しかよく知らないことがわかりました。また、「農家の仕事」の学習では、柏市がかぶの生産量日本一であることを知りました。そこから、「どうやって育てているのか」「簡単につくれるのか」「どんな味がするのか」などの疑問から、子どもたちは「自分たちもかぶを育ててみたい！」と思うようになりました。そして、実際に南部小でかぶを育てるため、動き出しました。

調べ学習をすると、かぶを育てる場所は、水はけがよく、日当たりがいいところがいいことがわかりました。そこで、校庭のわきの荒れ地に目をつけ、そこを1から畑にすることにしました。



草ぬきは、想像以上に苦戦しました。背の高さを超えるような草も、地面深くに埋まった根っこも引き抜き、2クラスで数日間取り組みました。しかし、草は抜けてきたものの、もっと土を柔らかくしないといけないのではと考え、機械を使って耕せないかと考えました。

そこで、3年生の子どもたちは、城川校長先生や理科の加藤先生に交渉をし、耕運機を入れてもらうことになりました。機械で耕した土は「とてもやわらかい！」と触りながら確かめていました。また、機械では取り切れない草や根っこは、再び手作業で子どもたちがきれいに取り除きました。

いよいよ種まきまであと少し。子どもたちのプロジェクトが動き始めています。

